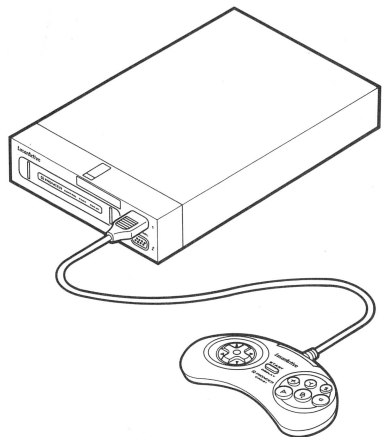


コントロールパック

PAC-S 1



パイオニアの製品をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

お使いになる前に、この取扱説明書を良くお読みください。特に「使用上のご注意」は、必ずお読みください。お読みになった後は、後々お役に立つこともありますので、保証書などと共に大切に保管してください。

- 業務用には対応していません。
- レーザーアクティブ対応コンパチブル レーザーディスク プレーヤー専用ですので、他の機器とは組み合わせて使用できません。

LaserActive™

LaserDisc™



GRAPHICS

目次

MEGA-LD, MEGA-CD, ROMカートリッジの楽しみかた	
使用上のご注意	2
正しく、末永くお使いいただくために	
	3
LaserActiveの特長	4
バックアップ機能について	5~9
バックアップRAMについて	5
初期化のしかた	6
消去のしかた	7
コピーのしかた	8
画面の見方	8
初期化、消去、コピー、の終了	9
各部の名称と使いかた	10
始めかた	12
終わりかた	14
LD、CDV、CD、CD-Gの楽しみかた	
テレビ画面に出る操作画面について	15~20
基本操作画面	16
拡張操作画面	16
エキストラ操作画面	17
CDグラフィックス操作画面	17
時間情報操作画面	18
操作画面のボタンについて	19
CD-Gの楽しみかた	21
再生の速さや向きを変えるには	22
静止画/コマ送り	23
繰り返して見る・聞く	24
チャプターや曲をプログラムする	26
順不同で聞く	28
指定した時間内で演奏可能な曲を	
プログラムする	29
見たい場面を探す	31
聞きたい曲を探す	34
音声の選びかた	36
故障?ちょっと調べてください	31
仕様	37
アフターサービスについて	40

安全のために!

本文中に記載されているこの表示は、誤った使い方をした場合、あなたや他の人々に危険をおよぼすおそれのあることについて書かれています。
注意深くお読みください。

使用上のご注意

安全のために！

故障や火災・感電を未然に防ぐために必ずお守りください。レーザーアクティブ対応コンパチブル、レーザーディスク プレーヤーの取扱説明書も合わせてお読みください。



■ 湿気やホコリを与えない

湿気やホコリ、調理台の油煙や蒸気などが当たらないようにしてください。



■ 暖房器具を近くに置かない

ストーブなどの発熱体をそばに置かないでください。



■ 不安定な所や振動のある所へは置かない

傾いた所や振動のある所、ぐらつくような台の上には置かないでください。落ちたり、倒れたりして危険です。



■ 液体をこぼさない

本機の上に水の入ったコップや花瓶、金魚鉢、化粧水などを置かないでください。万一、内部に水などが入った場合は、修理を依頼してください。



■ 異物をいれない

通風孔などからヘアピンや針、硬貨などの金属製の物、紙やマッチなどの燃えやすい物などを差し込んだり落したりすると、故障や火災、感電の原因になります。異物が入ったときは、修理を依頼してください。

- 本機の修理および内部の点検、調整はバイオニアサービスセンター、サービスステーションまたはお買い上げの販売店にご依頼ください。



■ 分解しない

本機のキャビネットははずさないでください。電圧の高い部分がありますので内部をさわると感電する恐れがあります。改造は発煙、発火の恐れがありますので絶対にしないでください。お客様の改造による性能の劣化や故障は当社では責任を負いません。



■ お手入れについて

通常は、柔らかい布で空拭きしてください。汚れがひどい場合は水で5～6倍に薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸してよく絞った後、汚れを拭きとり、その後乾いた布で拭いてください。アルコール、シンナー、ベンジン、殺虫剤などが付着すると印刷、塗装などがはげることがありますのでご注意ください。また、ゴムやビニール製品を長時間触れさせることも、キャビネットを痛めますので避けてください。化学ぞうきんなどをお使いの場合は、化学ぞうきんに添付の注意事項をよくお読みください。

ご注意

ゲームをお楽しみになる場合は、プロジェクションテレビをご使用にならないでください。プロジェクションテレビをご使用になると内部のブラウン管に画像焼き付きが発生することがあります。

● 本機を使用される場合は、極力疲れた状態で使用することは避け、テレビ画面からできるだけ離れてゲームをおこなってください。長時間ゲームを続ける場合は健康のため、1時間ごとに10～15分の休みをとってください。

● 強い光りの刺激や強い光りの点滅を受けたり、テレビ画面等を見たりしている時に一時的に筋肉のけいれんや、意識のそうじつ等の症状を経験したことのある人はテレビゲームをすることで、ごくまれに同様な症状になる可能性がありますので、事前に医師に相談してください。

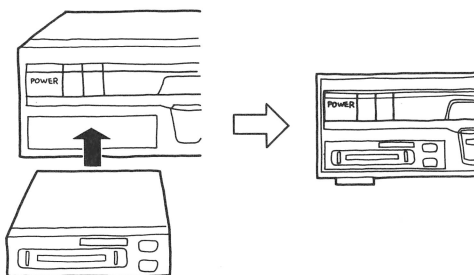
また、方一このような症状がおきた場合には、すぐにゲームを止め医師に相談してください。

正しく、末永くお使いいただくために

本機(バック)の取り付け/ 取り外しは電源OFFで!

- 本機をレーザーアクティブ対応コンパチブル レーザーディスク プレーヤーへ取り付け/取り外しするときは、本体の電源を必ずOFFにして、おこなってください。

バック取り付けは、レーザーアクティブ対応プレーヤー本体のパネル面と同じになるまで確実に押し込んでください。

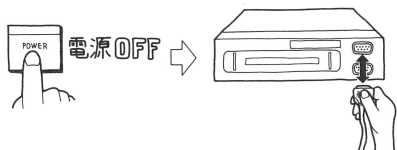


ご注意

- コントロールバック取り付け時は、コントロールバックのパネル面がプレーヤーのパネル面と同じになるまで、確実に押し込んでください。
- コントロールバックを取り付けると、レーザーアクティブ対応コンパチブル レーザーディスク プレーヤーに付属のリモコンでは電源のON/OFFはできません。
- コントロールバック(本機)の後ろのレーザーアクティブ端子に手をふれたり、他の金属にふれたりしないでください。静電気によって、本機の故障の原因になります。

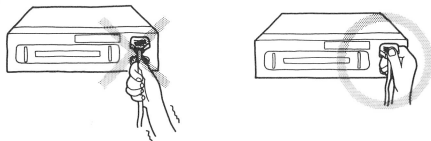
コネクタの抜き差しは電源OFFで!

コネクタを抜き差しするときは、必ず本体の電源をOFFにしてください。また、回しながらの抜き差しはしないでください。

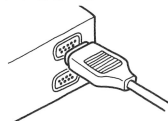


コントロールパッドのコードを強く曲げたり、引っ張ったりしないでください。


コードの抜き差しは、コネクタ部分を持っておこなってください。コードを引っ張ったり、コネクタを回したりして、乱暴に抜くと本機が故障する場合があります。

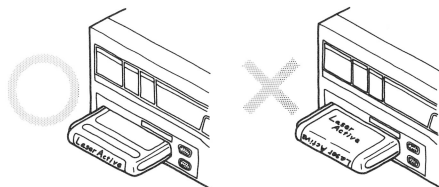


- コントロールパッドのコネクタは、形状を合わせてバックにまっすぐに差し込んでください。



カートリッジの取り扱い

-  マークのついたカートリッジを使用してください。
- 差し込むときは、ゆっくりと確実に最後まで差し込んでください。
- 接続部分(金属部分)を指でさわったり、他の金属に触れないようにしてください。静電気によって中に記憶されている内容がこわれてしまうおそれがあります。
- 接続部分(金属部分)は、汚さないようにしてください。
- カートリッジは、絵(表)を下に、注意書き(裏)を上に入れてください。

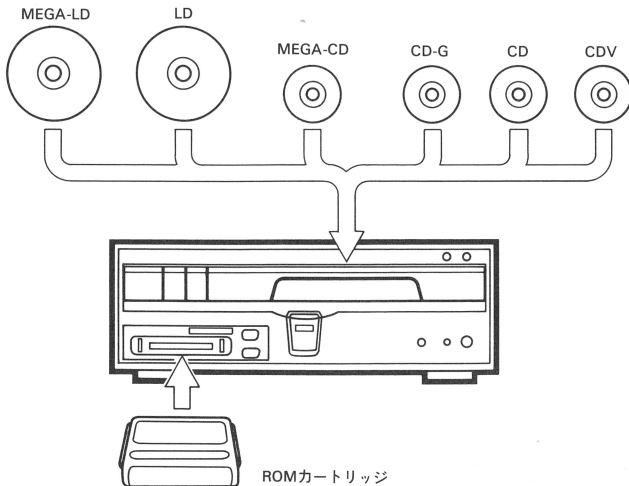


カートリッジの抜き差しは電源OFFで!

- カートリッジを抜き差しするときは、必ず本体の電源をOFFにしてください。電源ONの状態ではカートリッジを抜き差しすると、カートリッジ、コントロールバック、本体の故障の原因となります。

LaserActiveの特長

本機は、レーザーアクティブ対応機器に接続して、メガドライブ用ゲームソフトが楽しめます。ROMカートリッジだけでなく、CD-ROMやLD-ROM(レーザーアクティブ対応機器が再生を行います。)のゲームも楽しむことができます。



- レーザーアクティブでご使用になれるのは、つぎのROMカートリッジです。



メガドライブ用ROMカートリッジ



CD (12cm, 8cm)



CDグラフィックス

- 以下は、レーザーアクティブ対応機器側で再生をおこなうことにより、可能となります。



MEGA-LD (メガ・エルディー)
(30cm, 20cm)



LD (30cm, 20cm)



MEGA-CD (メガ・シーディー)



CDV (CD VIDEO)
CDビデオシングル



TOC付きLD (CD VIDEO LD)
(30cm, 20cm)

* CD-Iおよび他機種のゲームディスクは、ご使用できません。また、EXTENDED GRAPHICS マークのCDグラフィックスは本機では対応していません。



メガドライブ、メガCDは株式会社セガ・エンタープライゼスの登録商標です。

バックアップ機能について

バックアップRAMについて

ゲームデータの保存(バックアップ機能)について

- ゲームソフトの中には、ロールプレイングゲームなどプレイ中のソフトをいったん終了し、また、あとから続きを行うために、終了したときの「ゲームデータ」を保存(セーブ)できるソフトがあります。CD、LDゲームソフトの場合、ディスク自身には保存できないため、コントロールパックにそのための回路が内蔵されており、それを「内蔵バックアップRAM」と呼びます。

- 容量の関係で保存できるデータには限りがありますので「ゲームデータ」は、消去やコピーなどの整理を行ってください。(ただし1か月以上本体の電源を入れずにおくとデータが消えてしまうことがあります。その場合は再び「内蔵バックアップRAMの初期化」を行います。)また、MEGA-CD専用「バックアップRAMカートリッジ」(市販)を使用すると、バックアップRAMの容量を拡張することができます。

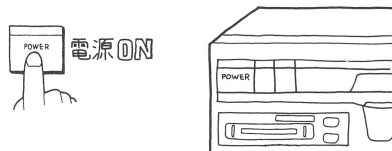
■ バックアップRAMカートリッジ(市販)について

バックアップRAMには、内蔵バックアップRAMのほか、カートリッジスロットに差し込んで使用するMEGA-CD専用バックアップRAMカートリッジがあります。内蔵バックアップRAMがいっぱいになったときなどにご利用になると便利です。

ご注意

本製品は、長い間(目安として1か月)電源を切ったままにしておくで内蔵バックアップRAMにセーブされているデータが消えてしまいます。データを消さないようにするためには、使用しないときでも1か月に1回以上本体の電源スイッチをONにしてください。このとき、コントロールパックが正しく取り付けられていることを確認してください。

もしもデータが消えてしまったときは、内蔵バックアップRAMをもう一度「初期化」し、1時間ほど本体の電源スイッチをONにしておいてください。



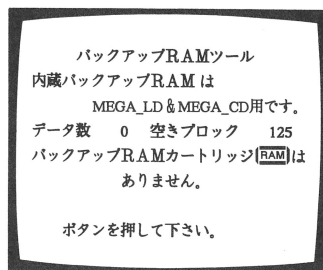
初期化のしかた

初期化とは、バックアップRAMを使用可能な状態にすることです。

初めて使うとき、必ず「初期化」を行ってください。すでにデータがセーブされているときに初期化を行うと、データはすべて消去されますので、ご注意ください。

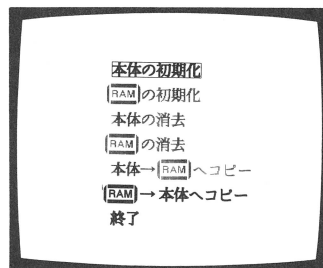
1. 起動画面(13ページ参照)でスタート(START)ボタンを押してください。

右のような初期画面(内蔵バックアップRAMのデータ数と空きブロックが表示されている画面)のときは、工場出荷時に初期化されています。
そのままお使いください。



▲初期画面

2. 「内蔵バックアップRAMは初期化してください」と出たときは、Cボタンを押してください。メニュー画面に変わります。



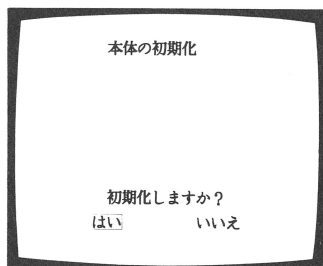
▲メニュー画面

3. 「内蔵バックアップRAMの初期化」を選び、Cボタンを押すと、初期化画面に変わります。

(メニュー画面の見方は、8ページをご覧ください。)

4. 「はい」を選び、Cボタンを押すと、初期化され、メニュー画面にもどります。

「いいえ」を選び、Cボタンを押すと、初期化されずに、メニュー画面に戻ります。



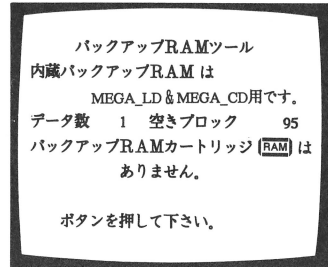
▲初期化画面

「初期化できません」というメッセージがでたときは、故障していることも考えられます。詳しくは、お買い上げ販売店にお問い合わせください。

消去のしかた

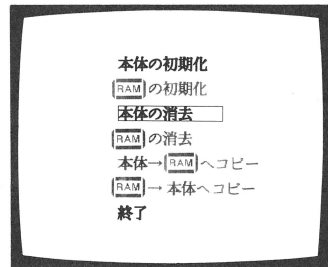
「消去」とは、不要になったデータを消すことです。消去によってセーブしたデータを整理してください。データをセーブしていないと、「消去」は選択できません。

1. 起動画面でスタート(START)ボタンを押してください。初期画面に変わります。



▲初期画面

2. Cボタンを押すと、メニュー画面に変わります。



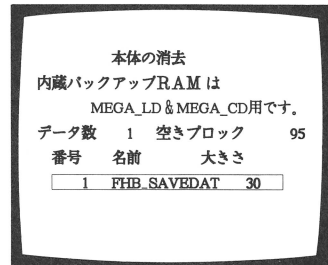
▲メニュー画面

3. 「消去」を選び、Cボタンを押すと、消去画面に変わります。

(メニュー画面の見方は、8ページをご覧ください。)

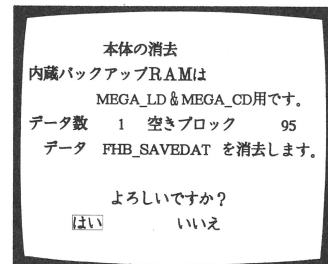
4. セーブされているデータが表示されますので、消去したいデータを選び、Cボタンを押してください。消去画面2に変わります。

(消去画面1の見方は、8ページをご覧ください。)



消去画面-1の例※

5. 「はい」を選び、Cボタンを押すと、消去され、メニュー画面に戻ります。「いいえ」を選び、Cボタンを押すと、消去されずに、メニュー画面に戻ります。



消去画面-2の例※

「消去」をおこなったにもかかわらずデータが消えていなかったときは、故障していることも考えられます。詳しくはお買い上げ販売店にお問い合わせください。

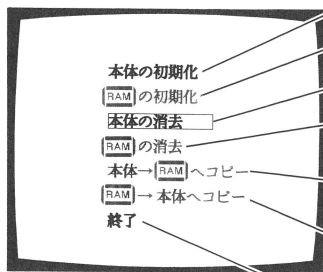
※ 画面は、開発中のもののためデータ名や数値は必ずしも実際のものではありません。

コピーのしかた

コピー（複写）は、バックアップRAMカートリッジ（市販）を使用していないと選べません。詳しくはバックアップRAMカートリッジの取扱説明書をご覧ください。

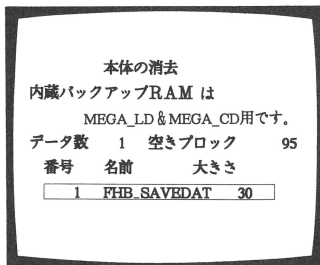
画面の見方

▼メニュー画面



1. 内蔵バックアップRAMを初期化します。
2. バックアップRAMカートリッジを初期化します。
3. 内蔵バックアップRAMのデータを消去します。
4. バックアップRAMカートリッジのデータを消去します。
5. 内蔵バックアップRAMのデータを、バックアップRAMカートリッジへ複写します。
6. バックアップRAMカートリッジのデータを内蔵バックアップRAMへ複写します。
7. コントロール画面に戻ります。

▼消去画面1※



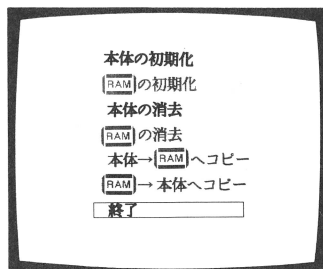
- データ数: セーブされているデータ数。
 空きブロック: バックアップRAMの未使用容量。
 単位はブロック
 番号: データの通し番号。
 名前: データのバックアップRAM上での名前。プレイヤーは書き込めません。ゲームの略称などが自動的に書き込まれます。
 大きさ: 各データの容量。単位はブロック。

※ 画面は、開発中のもののためデータ名や数値は必ずしも実際のものではありません。

初期化、消去、コピー、の終了

初期化、消去、コピー、をしたあと、MEGA-CDディスクまたはMEGA-LDディスクでゲームをするときは、次の操作をおこなってください。

1. メニュー画面で「終了」を選び、Cボタンを押し、起動画面を出してください。



▲メニュー画面

2. 起動画面で操作し、遊びたいMEGA-CDディスクまたはMEGA-LDディスクを入れ、ゲームを始めてください。

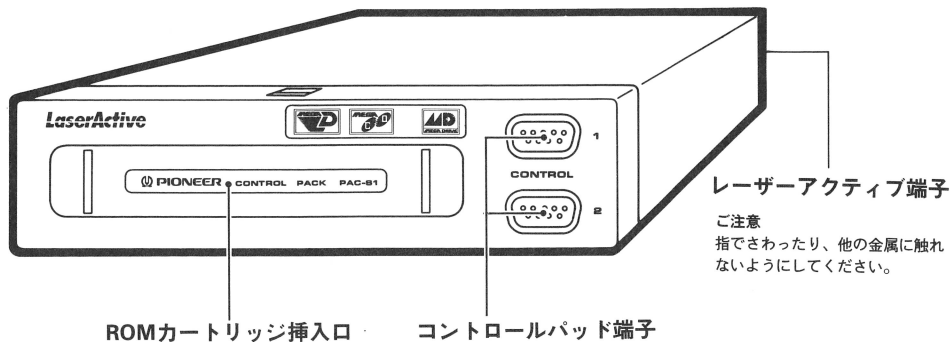


▲起動画面

各部の名称と使いかた

コントロールパック

コントロールパックの取り付け/取り外しかたは、レーザーアクティブ対応機器の本体の取扱説明書をご覧ください。

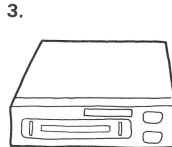
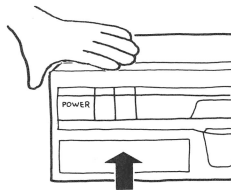


コントロールパックの取り付けかた

1. レーザーアクティブ対応機器本体の電源を切る。
2. コントロールパックの後面のコネクタキャップをはずす。
3. レーザーアクティブ対応機器本体を手で押さえながら、コントロールパックを確実に装着する。

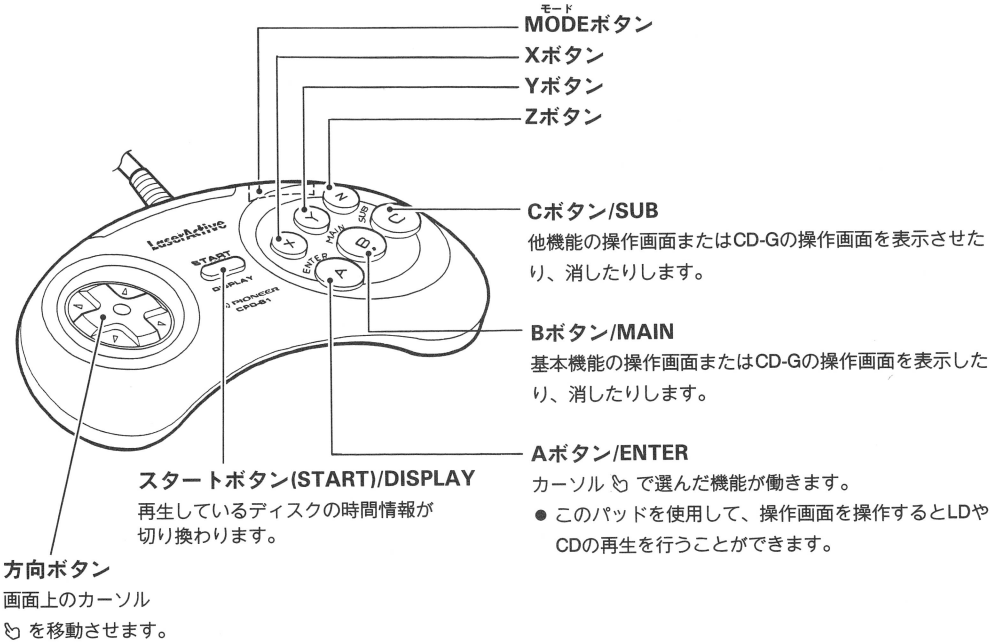
ご注意

- 確実に装着するために、本体上面を軽く押えてパックのパネル面が本体パネル面と同じになるまで押し込んでください。
- コネクタキャップははずさないでください。コントロールパックをレーザーアクティブ対応機器本体からはずして保管するときは必ず、コネクタキャップを取り付けて保管してください。



コントロールパッド

- このパッドを使用して、操作画面を操作するとLDやCDの再生を行うことができます。
- ゲームの操作に使います。各ボタンの使いかたはゲームによって異なります。ここでは、名称と代表的な機能の説明をしています。



6ボタンコントロールパッドの使用について

ごく一部の3ボタン用ソフトに限り「X,Y,Zボタン」や「モードボタン」が対応するためにわずらわしく感じられる場合があります。そのような場合、一度レーザーアクティブ本体の電源スイッチを切り、このコントロールパッドの「モードボタン」を押しながらレーザーアクティブ本体の電源スイッチを入れてください。強制的に「X,Y,Zボタン」と「モードボタン」が反応しない仕様となり、より快適にゲームを楽しめます。

箱に入っている品を確認してください。

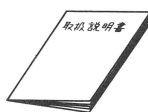
コントロールパック



コントロールパッド



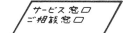
取扱説明書



保証書



サービス窓口・ご相談窓口



始めかた

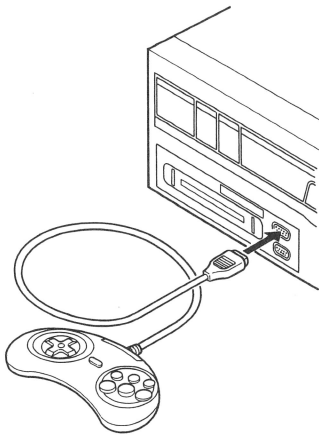
● 始めるときの準備

- ① レーザーアクティブ対応機器本体の電源をOFFにする。



- ② コントロールパッドにコントロールパッドのコネクタを差し込む。

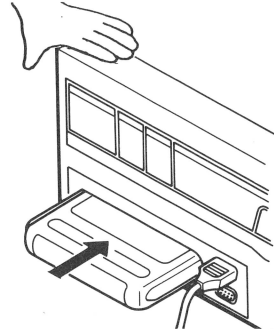
コントロールパッドが2個必要なときは、別売のコントロールパッドをお求めください。



カートリッジゲームをする場合

1. メガドライブ用ROMカートリッジをコントロールパックに差し込む。

- 背ラベルが正しく見える位置、すなわちラベルが下向きになるように差し込んでください。
- ROMカートリッジを差し込むときは、ゆっくりと確実に奥まで差し込んでください。



ご注意

確実にカートリッジを差し込むために、本体の上面を軽く押えて差し込んでください。

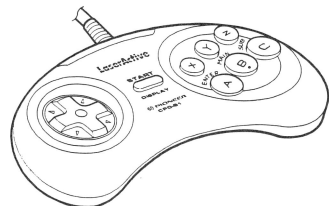
2. レーザーアクティブ対応機器本体の電源を入れる。



- ゲームがすぐに始まりますので、コントロールパッドを操作してください。

ゲームが始まったら・・・

- コントロールパッドの操作のしかたは、それぞれのゲームの説明書を参照してください。



MEGA-LDやMEGA-CDなどのディスクゲームをする場合

メガドライブ用ROMカートリッジが差し込まれている場合は、取り出してください。

1. レーザーアクティブ対応機器本体の電源をONにする。

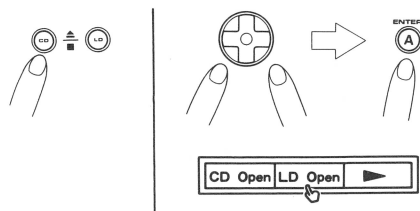
- 起動画面が現れます。操作は、その後におこないます。



2. ディスクテーブルを開ける。

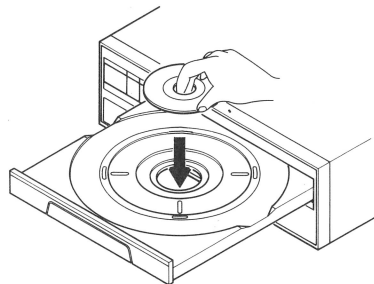
- レーザーアクティブ対応機器本体のオープン/クローズボタン(MEGA-CDの場合はCDオープンボタン、LDオープンボタン、MEGA-LDの場合はLDオープンボタン)を押します。

または、コントロールパッドを操作して、MEGA-CDの場合は、CD OpenかLD Open、MEGA-LDの場合はLD Openの上に☞を合わせAボタンを押します。



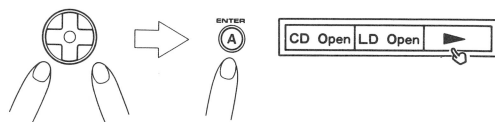
3. ディスクをセットする。

- ディスクのセットのしかたは、通常のLD、CDと同じです。レーザーアクティブ対応機器本体の取扱説明書を参照してください。



4. プレイボタンを押す。

- レーザーアクティブ対応機器本体のプレイボタンまたはリモコンのプレイボタンを押します。または、コントロールパッドを操作して、画面の▶に☞を合わせ、Aボタンを押します。



お願い!

電源をオフした後に、3秒以内に再び電源をオンにすると、ゲームによっては正常にスタートしないことがあります。電源のオン/オフは少なくとも3秒以上間隔をあけてください。

終わりがた

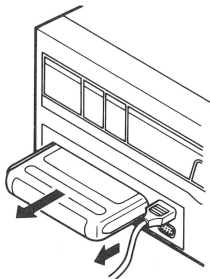
カートリッジゲームの場合

1. レーザーアクティブ対応機器本体の電源をOFFにする。



2. ROMカードを取りはずし、コントロールパッドのコネクタを抜く。

- 本体上面を軽く押えて、ゆっくりと取りはずしてください。



MEGA-LD、MEGA-CDの場合


1. 起動画面にします。

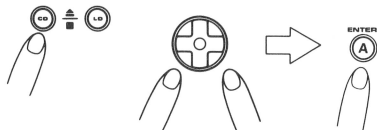
- レーザーアクティブ対応機器本体のリセットボタンを押します。



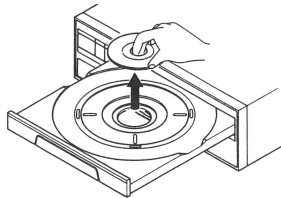
2. ディスクテーブルを開ける。

- レーザーアクティブ対応機器本体のオープン/クローズボタン (MEGA-CDの場合はCDオープンボタンかLDオープンボタン、MEGA-LDの場合はLDオープンボタン)を押します。



または、コントロールパッドを操作して、MEGA-CDの場合は、CD OpenかLD Open、MEGA-LDの場合はLD Openの上に  を合わせAボタンを押します。

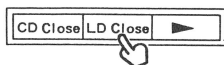
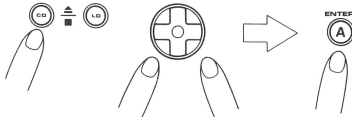


3. ディスクを取り出す。



4. ディスクテーブルを閉める。

- レーザーアクティブ対応機器本体のオープン/クローズボタン (CDクローズボタンかLDクローズボタン) またはリモコンのプレイボタンを押します。または、コントロールパッドを操作して、CD CloseかLD Closeか  の上に  を合わせAボタンを押します。




5. レーザーアクティブ対応機器本体の電源をOFFにする。





コントロールパック (本機) の取りはずしかたは、レーザーアクティブ対応コンパチブル レーザーディスク プレーヤーの取扱説明書をご覧ください。

テレビ画面に出る操作画面について

コントロールパッドでレーザーアクティブ対応機器本体を操作することができます。

画面表示を呼び出し、カーソル  を方向ボタンで移動し、機能を選んでAボタンを押します。

1. ディスクをセットし、再生を始める。

- 13ページの「MEGA-LDやMEGA-CDなどのディスクゲームをする場合」の1~4の操作をします。
- LD、CDの再生中に、以下の操作画面を呼び出すことができます。
- 起動画面(13ページ)で  を  に合わせ、Bボタンを押すと、停止して基本操作画面になります。Bボタンの代わりにCボタンを押すと停止して、拡張操作画面になります。

2. 操作画面で、LD、CDの操作する。

操作画面の呼び出し
コントロールパッドのB(MAIN)ボタンを押す。

- 基本操作画面が表示されます。
- 基本操作画面の状態ではCボタン(SUB)を押すと、拡張操作画面が表示されます。
- START(DISPLAY)ボタンを押すごとに、ディスク再生時間の情報を切り換えることができます。


ご注意

操作画面は10分ほど、そのまま表示を続けるとテレビ画面上の表示が暗くなります。この場合、コントロールパッドまたはリモコンのいずれかのボタンを押すと、元の明るさに戻ります。

基本操作画面

- Bボタンを押す。

CD再生時*




表示中にBボタンを押すと、表示は消えます。



拡張操作画面

- Cボタンを押す。


CD再生時*

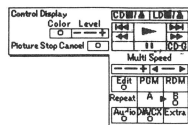


表示中にCボタンを押すと、表示は消えます。


* LDの再生時は  の右は 、左は  表示になります。

CDグラフィックス画面

CD再生時に基本操作画面のCD-Gに  を合わせ、Aボタンを押すと、この画面になります。



エキストラ操作画面

拡張操作画面のExtraに  を合わせ、Aボタンを押すと、この画面になります。



ディスク再生時間情報画面

CD/トラックタイム

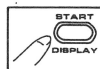
● CDのときの例

ディスクの始めからの再生経過時間(絶対時間)



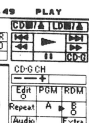
総再生時間

再生中の曲の残り再生時間



DISCAL

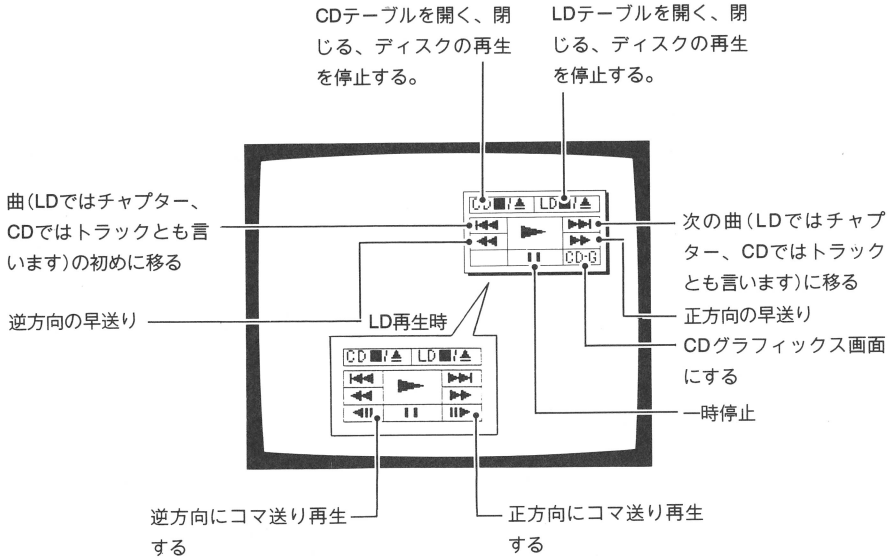
ディスクの終わりまでの残り再生時間



- LDまたはCDVの場合は、レーザーアクティブ対応プレーヤー本体の取扱説明書の「画面表示について」を参照してください。

基本操作画面

(CD再生時)

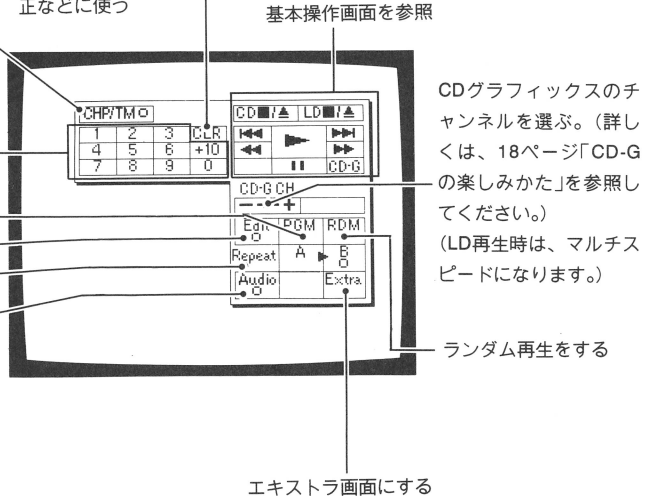


拡張操作画面

(CD再生時)

チャプターサーチ、フレームサーチやタイムサーチをするときに、使用する(→31~33ページ)
 選曲、プログラム、エディットなどで数字を使うときに使用する
 プログラムモードにする
 エディット機能にする
 繰り返し再生する
 音声の切り換え(ステレオ→L→R)

リピートモード、プログラムモード、またはランダム再生の解除、数字ボタンの入力訂正などに使う



エキストラ操作画面

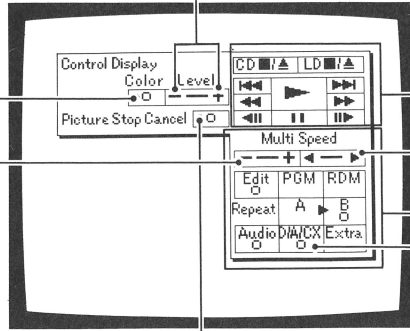
(LD再生時)

これらの操作画面窓以外
の色を変えます。

操作画面の明るさを変
えます。

● 目の健康のため、あ
まり明るくしすぎると、目が疲れますの
で注意してください。

マルチスピード再生の
速さを選択



基本操作画面を参照

マルチスピード再生の
方向(正または逆)を選択

拡張操作画面を参照

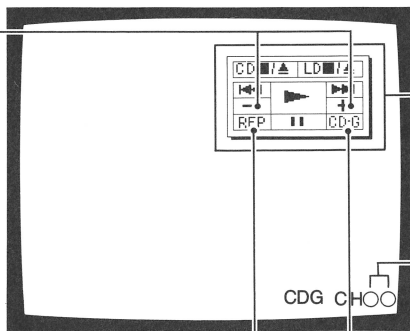
デジタル音声/アナログ
音声の切り換えとCXの
入/切 (36ページ)
(CD再生時はありませ
ん。)

LDのCAVディスクで、自動的に静止画になるコード
が入っているディスクでも静止画にならなくなります。

CDグラフィックス操作画面

(CD再生時)

CDグラフィックスのチ
ャネルを選びます。
(詳しくは、21ページ
「CD-Gの楽しみかた」を
参照してください。)



基本操作画面を参照

選んだチャンネルを表
示します。

繰り返し再生する

基本操作画面に戻る

時間情報操作画面

- START (DISPLAY) ボタンを押すと、時間情報操作画面になり、このボタンを押すごとに時間情報が切り換わります。

現在再生中の曲番号 (LDでは、チャプターナンバー) を表示します。

LDでは、CAVディスクがあり、このディスクに記録されているフレームナンバーを表示します。

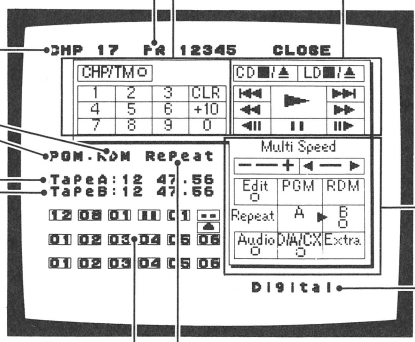
拡張操作画面を参照 (16ページ)
基本操作画面を参照 (16ページ)

ランダム再生になると表示します。

プログラム再生になると表示します。

エディットしたときの、録音するテープA面用に編集した曲数と合計の再生時間を表示します。

エディットしたときの、録音するテープB面用に編集した曲数と合計の再生時間を表示します。



繰り返し再生になると表示します。

拡張操作画面を参照 (16ページ)

デジタル/アナログ切換えを表示します。

ビジュアルカレンダーと言います。ディスクに入っている曲 (LDでは、チャプターナンバー) を表示し、再生を終了した曲は反転表示から、通常の表示になります。また、プログラムした場合は、プログラムされた曲を表示します。

ご注意

すべてのCD、CDV、CD-ROM、LD-ROMディスクには、音声信号以外のTOC (Table of Contents) という情報がディスクの始めの部分に記録されています。TOCは、本の目次に相当し、LDディスクによっては、この情報が記録されていないものもあります。この場合、時間情報画面中のビジュアルカレンダーは表示されず、また残量時間等の表示もされません。

操作画面のボタンについて

*印のあるボタンは、レーザーアクティブ対応コンパチブル レーザーディスク プレーヤーまたは付属のリモコンでも機能します。

プレーヤーの取扱説明書も合わせてご覧ください。

CDテーブル・ストップ・オープン/クローズボタン *



CDテーブルを開く、閉じる、ディスクの再生を停止する。

LDテーブル・ストップ・オープン/クローズボタン *



LDテーブルを開く、閉じる、ディスクの再生を停止する。

プレイボタン *



LD/CDの再生を始める。

チャプター/トラックスキップボタン *



次の曲(LDではチャプター、CDではトラックとも言います。)に移る

チャプター/トラックスキップボタン *



曲(LDではチャプター、CDではトラックとも言います。)の初めに移る

早送りボタン *



正方向の早送り。

早戻しボタン *



逆方向の早送り。

ステップボタン



一度押すと、静止画になります。もう一度押すと、正方向にコマ送り再生します。

ステップボタン



一度押すと、静止画になります。もう一度押すと、逆方向にコマ送り再生します。

ポーズボタン *



再生を一時停止します。(LDでは静止画にはなりません。)

マルチスピードボタン



マルチスピード再生の速さを選択する。

マルチスピードボタン



マルチスピード再生の方向(正常または逆)を選択する。

ランダム再生ボタン



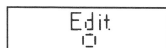
ランダム再生を始める。

プログラムボタン



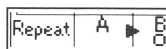
プログラムモードにする。

エディットボタン



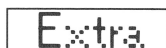
エディット機能にする。

リピート、A、Bボタン



繰り返し再生する。

エキストラボタン

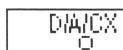


エキストラ画面にする。

チャプター/トラックサーチ、早送り、フレーム/チャプターサーチおよびタイムサーチなどレーザーアクティブ対応コンパチブル レーザーディスク プレーヤーと同様の操作でコントロールパッドと画面表示にて使用できます。レーザーアクティブ対応機器本体の取扱説明書を合わせてお読みください。

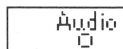
テレビ画面に出る操作画面について

デジタル/アナログ/CXボタン *



デジタル音声/アナログ音声の切り換えとCXの入/切をする。

オーディオボタン *



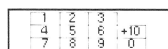
音声の切り換え(ステレオ→L→R)を行う。

クリアーボタン *



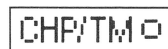
リピートモード、プログラムモード、またはランダム再生の解除、数字ボタンの入力訂正などに使う。
選曲、プログラム、エディットなどで入力した数字が間違った時、やり直しをするために、数字を削除します。

数字ボタン *



選曲、プログラム、エディットなどで数字を使うときに使用する。

チャプター/タイムサーチボタン

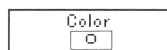


チャプターサーチ、フレームサーチ、タイムサーチをするときに、このボタンを押して数字ボタンを押す。

画面上表示と内容

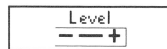
点灯・点滅	内容	点灯・点滅	内容
OPEN	ディスクテーブル開	Random	ランダム再生
CLOSE	ディスクテーブル閉	PGM.RDM	プログラムランダム
STOP	停止	Editing	エディットモード
PLAY	再生	Auto	オートプログラムエディット
PAUSE	一時停止	Compu	コンピュータプログラムエディット
STILL	静止画	Digital	デジタル音声
1/2、1/4...	低速再生	Analog	アナログ音声
×1、×2、×3	高速再生	Stereo	ステレオ
Video	ビデオパートのサーチ	1/Lch	主音声/左チャンネル
Audio	オーディオパートのサーチ	2/Rch	副音声/右チャンネル
Memory Repeat	メモリーリピート	CX ON	CXシステムON
A-B Repeat	A-Bリピート	CX OFF	CXシステムOFF
Side-A (B) Repeat	片面リピート	CDG CH	CDグラフィックスチャンネル
Chapter (Track) Repeat	チャプター/トラックリピート	PSC ON (OFF)	ピクチャーストップキャンセルON (OFF)
Random Repeat	ランダムリピート		
Program Repeat	プログラムリピート		
Program	プログラムモード	Loading Error!	再生できないディスクを再生した
Step	プログラムステップ(番号)		

カラーボタン



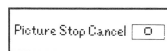
操作画面窓以外の色を変えます。

カラーレベルボタン



操作画面の明るさを変えます。

ピクチャーストップキャンセルボタン



LDのCAVディスクで、自動的に静止画になるコードが入っているディスクでも静止画にならなくなります。

CDグラフィックスチャンネルボタン



CDグラフィックスのチャンネルを切り換える。

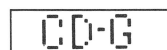
(拡張操作画面)



CDグラフィックスのチャンネルを切り換える。

(CDグラフィックス操作画面)

CDグラフィックスボタン



CDグラフィックス操作画面に切り換える。

CDグラフィックス操作画面では基本操作画面に戻る。

CD-Gの楽しみかた

CDグラフィックス(CD-G)の楽しみかたについて説明します。

1. CD-Gディスクをセットする。

- 詳しくは、「始めかた」(13ページ)をご覧ください。

2. 起動画面の▶に☺を合わせ、Aボタンを押し、再生を始める。

- 再生を始めます。
- CD-Gディスクを再生中、CDグラフィックス操作画面に切り換えた場合は、その曲の初めから再生します。

グラフィックスが表示されない?

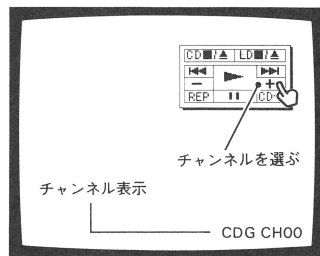
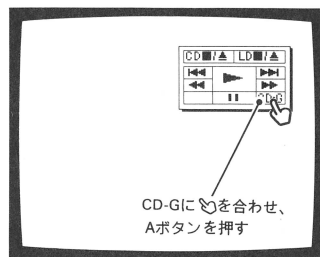
グラフィックスチャンネルの設定が間違っています。次のように設定を変更してください。

チャンネルの変更は、ディスク再生中に行います。

1. コントロールパッドのB(MAIN)ボタンを押し、基本操作画面を表示させ、さらにCD-Gに☺を合わせ、Aボタンを押し、CDグラフィックス操作画面を表示します。

2. CDグラフィックスチャンネルの-、+に☺を合わせ、Aボタンを押し、絵(グラフィックス)が表示されるチャンネルに合わせる。

- 拡張操作画面のCD-G CHボタンでも操作できます。
- チャンネルは画面右下に表示されます。



■ CDグラフィックスとは

ディスクに映像や音声信号のほかに静止画信号が入っていて、音楽に合わせて、文字(歌の歌詞)や画像を同時に再生することができます。

CD(またはCDV)グラフィックスディスクには、**GRAPHICS** マークが付いています。グラフィックスを楽しむためには、これらのマークが付いたディスクをご使用ください。

- ディスクによっては、最大16チャンネル(00~15)のグラフィックスが記録されている場合があります。チャンネルを切り換えることにより、例えば、一曲の歌に、日本語、英語、ドイツ語・・・と各国語の内から選択できるものもあります。

ご注意

- 本機では、LD-G(LDグラフィックス)のディスクでは、静止画信号(映画の台詞など)の再生はできません。
- CD-G再生時は、数字ボタンを使ったダイレクトサーチはできません。

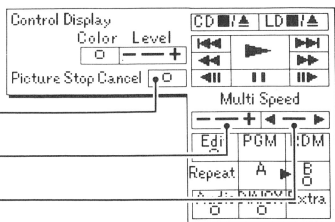
再生の速さや向きを変えるには

マルチスピード

ピクチャーストップキャンセル

マルチスピード-、+

マルチスピード◀、▶



向きを変えるには

コントロールパッドを操作して◀、▶に☺を合わせ、Aボタンを押します。

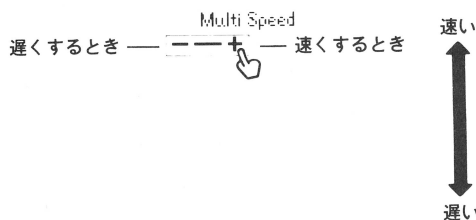
普通の再生に戻すにはプレイボタン▶に☺を合わせ、Aボタンを押します。



逆方向の再生でディスクの初めに戻ると、ふつうの再生が始まります。正方向の再生でディスクの終わりまでくると、静止画になります。

速さを変えるには

コントロールパッドを操作して-、+に☺を合わせ、Aボタンを押します。



スピードの表示	速さ
×3	ふつうの再生の3倍の速さ
×2	ふつうの再生の2倍の速さ
×1	ふつうの再生の速さ
1/2	ふつうの再生の1/2の速さ
1/4	ふつうの再生の1/4の速さ
1/8	ふつうの再生の1/8の速さ
1/16	ふつうの再生の1/16の速さ
1/30	ふつうの再生の1/30の速さ
1/90	ふつうの再生の1/90の速さ

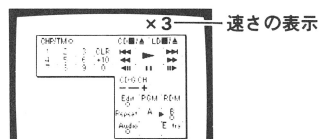
ふつうの再生に戻すには、プレイボタンを操作します。

速さを表示するには

コントロールパッドのセレクト (START) ボタンを押します。



選んでいる速さが表示されます。



あれっ?音が聞こえない:

マルチスピード再生中は音が聞こえません。

初めてマルチスピードになると:

自動的に1/4の速さが選ばれます。

自動的に静止画になってしまった

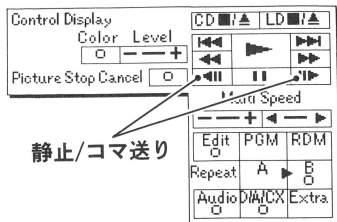
(標準ディスクCAVのみ):

あるディスクの中には、ピクチャーストップコードという特別な信号を記録したものがあります。

このようなディスクを×1、1/2、1/4、1/8、1/16、1/30、1/90のいずれかのスピードで再生するとピクチャーストップコードで指定されたフレームで自動的に静止画となります。そのときはプレイボタン▶、マルチスピードボタン で画面を動かしてください。

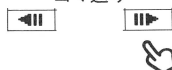
エキストラ操作画面のPicture Stop Cancelボタンに☺を合わせてAボタンを押すと、ピクチャーストップキャンセル機能が働き、ピクチャーストップコードのある画面にきてても静止せず、再生をつづけます。この時、画面に“PSC ON”と表示されます。もう一度Picture Stop Cancelボタンを操作すると、画面に“PSC OFF”と表示され、ピクチャーストップコードのある画面で静止画になります。

静止画/コマ送り - スティル/ステップ



画像を止めて見るには - 静止画

コマ送り



コントロールパッドを操作し、どちらかのボタンに
☺を合わせ、Aボタンを押します。

静止画になります。ふつうの再生に戻すには、プレ
イボタン▶に☺を合わせ、Aボタンを押します。

画像を1コマずつ送って見るには - コマ送り

コマ送り



静止画にします。

押すこと
に1コマ
ずつ前へ
戻ります。

押すこと
に1コマ
ずつ先へ
進みます。

コマ送り

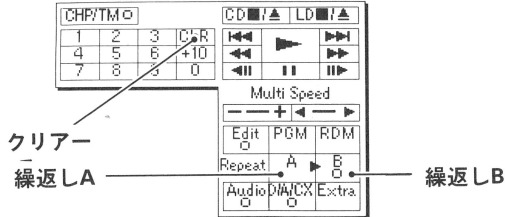


押し続けると連続してコマ送りができます。ふつう
の再生に戻すには、プレイボタン▶に☺を合わせ、
Aボタンを押します。

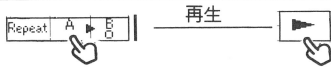
静止画、コマ送り中の音声は聞こえません。

繰り返して見る・聞く

リピート再生

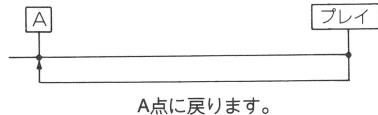


後でもう一度再生を始めたところに戻るには -メモリーリピート-



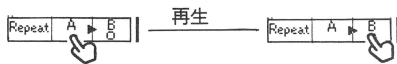
Aに を合わせ、Aボタンを押します。
A点がメモリーされます。

A点に戻るには、プレイボタン▶に を合わせ、Aボタンを押します。



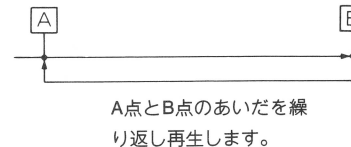
A点に戻ります。

指定した区間を繰り返し再生するには -A-Bリピート-



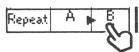
Aに を合わせ、Aボタンを押します。
繰り返したい部分の始点で操作します。

Bに を合わせ、Aボタンを押します。
繰り返したい部分の終点で操作します。
A-B Repeatを表示します。



A点とB点のあいだを繰り返し再生します。

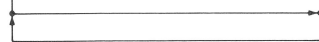
再生中のチャプターやトラックを繰り返し再生するには -チャプター/トラックリピート-



繰り返し再生したいチャプターまたはトラックの再生中に繰返しBボタンに を合わせ、Aボタンを押します。

再生中のチャプターまたはトラックの初め

再生中のチャプターまたはトラックの終り



チャプターまたはトラックの終りまで再生すると初めに戻り、繰り返し再生します。 Repeatを表示します。

リピート再生から抜け出すには:

クリアーボタン (CLR) に合わせ、Aボタンを押します。または、繰返しBボタンに合わせ、Aボタンを押します。リピートモードは解除されますが再生はそのまま続きます。

メモリーリピートでA点を指定しなおすには:

希望のところまで繰返しAボタンに合わせ、Aボタンを押します。押したところがA点になり、前に指定したA点は消えます。

CDVでのメモリーリピート、A-Bリピートについて:

ビデオパートとオーディオパートにまたがると、これらのリピート再生はできません。

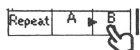
チャプターナンバーのないLDでは:

チャプターリピートはできません。このようなディスクでは、繰返しBボタンに合わせ、Aボタンを1回押すと片面リピートになります。

現在の再生モードを確認するには:

コントロールパッドのスタート (START) ボタンを押すと、リピート再生モードが画面に表示されます。

ディスクの片面すべてを繰り返して見る・聞くには - 片面リピート



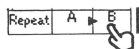
繰り返しBボタンに☞を
合わせ、Aボタンを2回
押します。
Repeatを表示します。

再生面の初め 再生面の終り



再生面の終りまで再生
するとディスクの初め
に戻り、繰り返して再生
が始まります。

プログラムを繰り返して見る・聞くには - プログラムリピート

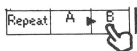


プログラム再生中に繰
返しBボタンに☞を合
わせ、Aボタンを押し
ます。

プログラムしたチャプターやトラックをプログラム
の順に繰り返して再生できます。

- プログラムについては26ページをご覧ください。

ランダム再生を繰り返して聞くには - ランダムリピート (TOC付きLD、CD、CDV)
- プログラムランダムリピート (LD、CD、CDV)



ランダム再生中に繰返
しBボタンに☞を合わ
せ、Aボタンを押しま
す。

プログラムランダム再
生中に繰返しBボタ
ンに☞を合わせ、Aボ
タンを押します。

順不同に再生するランダム再生、プログラムラン
ダム再生を繰り返します。

- ランダム再生、プログラムランダム再生について
は28ページをご覧ください。

リピート再生中でも次の操作ができます。

次の操作をすると片面リピート以外のリピートモード
は解除されます。

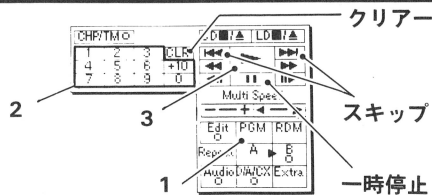
LDまたはCDVのビデオパート	CDまたはCDVのオーディオパート
再生 一時停止 静止画/コマ送り・戻し (LD) マルチスピード再生 (LD) 早送り/早戻し	再生 一時停止 早送り/早戻し

LDまたはCDVのビデオパート	CDまたはCDVのオーディオパート
チャプタースキップ サーチ操作 プログラム再生 ランダム再生	トラックサーチ サーチ操作 プログラム再生 ランダム再生

チャプターや曲をプログラムする

プログラム再生

再生したいチャプター(LD)やトラック(CDV/CD)を好きな順序で再生できます。最高24のチャプター/トラックがプログラムできます。



例 CDをトラック9、7、18の順で聞くには

1. プログラムボタンに☞を合わせ、Aボタンを押す。



CDでの画面表示

Program Step	1
Total Time	0.00
▲	...
▼	...
▶	...
◀	...



2. 数字ボタンの9、7、+10、8の順に☞を合わせ、Aボタンを順に押しします。

数字ボタンを操作し間違えたとき:
クリアーボタンを操作してから正しい数字ボタンを操作してください。

約1秒あと

Program Step	2
Total Time	4.15
09	▲
▼	...
▶	...
◀	...

約1秒あと

Program Step	3
Total Time	6.20
09 07	▲
▼	...
▶	...
◀	...



約1秒あと

Program Step	4
Total Time	8.30
09 07 18	▲
▼	...
▶	...
◀	...

3. プレイボタンに☞を合わせ、Aボタンを押します。



Program Track	9
09 07 18	...
▼	...
▶	...
◀	...

プログラムされた最初のトラック(チャプター)を探し、再生を始めます。この例では、トラックナンバー9からプログラム再生が始まります。

トラックナンバー9、7、18の順で再生が終わると停止状態になります。

プログラム再生を途中で止めるとき:

- CD■/▲ボタンまたはLD■/▲ボタンに☞を合わせ、Aボタンを押します。
または、クリアーボタン(CLR)に☞を合わせ、Aボタンを押します。この時、再生は続けます。

プログラムの内容を消すには:

- ディスクテーブルを開けます。
または、停止状態でクリアーボタン(CLR)に☞を合わせ、Aボタンを押します。

ポーズ(一時停止)をプログラムすると:

- ポーズをプログラムしておく、録音するときに大変便利です。
- テープの両面に録音するとき、片面に録音する最後のトラック/チャプターのあとにポーズをプログラムしておく、一時停止のときにテープの録音面を替えられ、録音ミスを防げます。
 - ポーズ状態のとき、ナレーションを吹き込んだり、無録音部分(サーチ操作などに必要)が作れます。ポーズ状態のとき、再生ボタン▶または、一時停止ボタンをもう一度操作すると、プログラム再生が引続き始まります。録音を再開してください。

一時停止をプログラムするには:

手順2に移ったら、プログラムしたいところで一時停止ボタン(■)に☞を合わせ、Aボタンを押します。

ご注意:

- プログラムの1番目(ステップ1)、または2回続けてポーズのプログラムはできません。
- 最後のステップにポーズをプログラムしても、ポーズ状態にはなりません。

プログラムしたポーズの表示:

画面では"■"が表示されます。

前または次のプログラムに移るには:



スキップボタン◀◀、▶▶に☞を合わせ、Aボタンを押します。

総再生時間を表示について:

CD、CDVのプログラムでは:








プログラムトータル時間を表示します。

プログラム内容を確認するには









プログラム再生中やプログラム再生が終わったあとにプログラムボタンに  を合わせ、Aボタンを押すと、プログラムした内容が画面に表示されます。もう一度プログラムボタンに  を合わせ、Aボタンを押すと、プログラム内容表示が消えます。

プログラムした内容を変えるには


プログラムしたチャプターナンバーやトラックナンバー、ポーズを削除するには:

1. プログラムボタンに、 を合わせ、Aボタンを押します。
2. スキップボタン 、 に  を合わせ、Aボタンを押して、▲ (カーソル) を削除するチャプターナンバーやトラックナンバー、ポーズの左側へ移します。
3. クリアーボタン (CLR) に  を合わせ、Aボタンを押します。
4. プログラムボタンに  を合わせ、Aボタンを押して完了です。プログラムボタンの代わりにプレイボタンに  を合わせ、Aボタンを押すと、最初にプログラムしたチャプターやトラックからプログラム再生を始めます。

プログラムしたチャプターナンバーやトラックナンバー、ポーズを訂正するには:

1. プログラムボタンに  を合わせ、Aボタンを押します。
 2. スキップボタン 、 に  を合わせ、Aボタンを押して、▲ (カーソル) を修正するナンバーやポーズの左側へ移動します。
 3. 数字ボタンに  を合わせ、Aボタンを押して、新しくプログラムするナンバーを表示させます。ポーズをプログラムするときは、一時停止ボタン (■) に  を合わせ、Aボタンを押します。
 4. プログラムボタンに  を合わせ、Aボタンを押して完了です。プログラムボタンの代わりにプレイボタンに  を合わせ、Aボタンを押すと、最初にプログラムしたチャプターやトラックからプログラム再生を始めます。
- 再生中のチャプターやトラックの削除、訂正はできません。

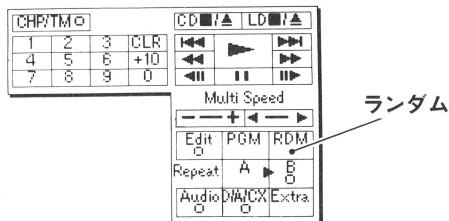
ご注意:


- プログラム再生中にスキャンボタンに  を合わせ、Aボタンを押し、早送り再生して、現在のチャプター(トラック)を越えてからAボタンを押すのを止めると、次にプログラムされているチャプターやトラックからプログラム再生を続けます。早戻しの場合は、早戻しを始める直前に再生していたチャプターやトラックの初めに戻ってプログラム再生を続けます。

順不同で聞く 片面の全曲を並べ変えて再生する

ランダム再生


ディスクの中の全ての曲を順不同に並べ変えて再生します。



ランダム再生ボタンに  を合わせ、Aボタンを押す。

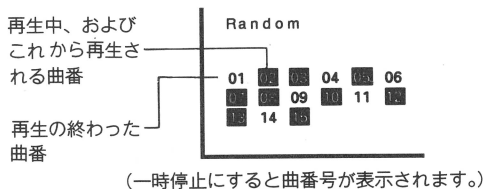


ランダム再生が始まります。
ディスクの中の全曲の再生が終わると停止します。


- ランダム再生中にランダム再生ボタンに  を合わせ、Aボタンを押すと、そのときの再生順序は解除され、新たな再生順序でランダム再生を再開します。

ランダム再生時の表示:

コントロールパッドのスタート (START) ボタンを押して、画面上に表示させたとき。




ランダム再生の次の曲に移るには:

▶▶|ボタンに  を合わせ、Aボタンを押します。押すたびに次々と進みます。

◀◀|ボタンに  を合わせ、Aボタンを押しても前の曲には戻りません。

ランダム再生を止めるには:

クリアーボタン (CLR) に  を合わせ、Aボタンを押します。
現在再生中の曲からディスクに入っている順序で再生します。

停止状態にするには:

CD■/▲ボタンまたはLD■/▲ボタンに  を合わせ、Aボタンを押します。


TOC付きLDでは:

チャプター0(ゼロ)は、ランダム再生しません。


CDVでは:


ビデオパートとオーディオパートのトラックが順不同で再生されます。

プログラムをランダム再生するには:

プログラム再生中にランダム再生ボタンに  を合わせ、Aボタンを押すと、プログラムしたチャプター/トラックをランダムに選び再生します。

ランダム再生を繰り返すには:

ランダム再生中やプログラムランダム再生中に繰返しBボタンに  を合わせ、Aボタンを押します。その回のランダム再生が繰り返されます。

リピードモードから抜け出すには、クリアーボタンが繰返しBボタンに  を合わせ、Aボタンを押します。

指定した時間内で演奏可能な曲をプログラムする

オート/コンピュプログラムエディティング

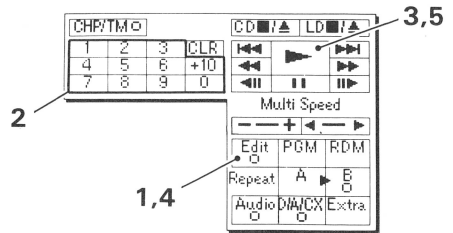
テープの録音時間を指定するとテープA面、B面に分けて曲をプログラムします。

コンピュプログラムエディット:

指定した時間内でできるだけ近くなるように、曲順を変えてプログラムします。テープを無駄なく使えます。

オートプログラムエディット:

指定した時間内にディスクに入っている曲を曲順を変えずにプログラムします。



- TOC付きLDでは、プレイボタン▶に☺を合わせ、Aボタンを押して1度再生し、CD■/▲またはLD■/▲ボタンに☺を合わせ、Aボタンを押して停止させます。

コンピュプログラムエディット

1. プログラムエディットボタンに☺を合わせ、Aボタンを押す。

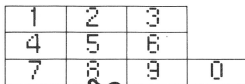


- 演奏中にEditに☺を合わせ、Aボタンを押すとポーズ状態になります。

オートプログラムエディット

1. プログラムエディットボタンに☺を合わせ、2度Aボタンを押す。

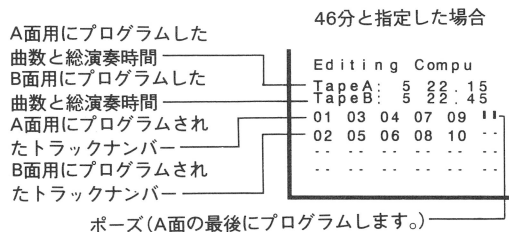
2. 時間(分)を数字ボタンで指定する。



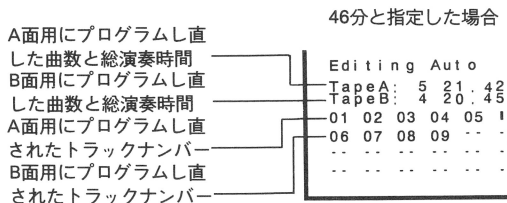
10分以上を指定するとき:

数字ボタンに☺を合わせ、Aボタンを押します。46分と指定するときは、[4]に☺を合わせ、Aボタンを押し、[6]に☺を合わせ、Aボタンを押す操作を続けます。

[コンピュプログラムエディットの時の画面]

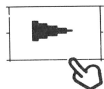



[オートプログラムエディットの時の画面]




指定した時間内で演奏可能な曲をプログラムする

3. プレイボタン▶ に を合わせ、Aボタンを押す。






A面用にプログラムされた曲が演奏されます。
A面用プログラムの最後でポーズ状態になります。
(テープを裏返すなどして、B面の録音を開始できるようにします。)プレイボタン▶に  を合わせ、Aボタンを押すとB面用にプログラムした曲を演奏します。

プログラム内容を消すには:

クリアーボタン(CLR)に  を合わせ、Aボタンを押します。

希望の曲からプログラムするには:

- プログラムの1曲目を指定します。
- 1. プログラムエディットボタンに  を合わせ、Aボタンを押す。
- 2. 1曲目にプログラムする曲を◀◀、▶▶1ボタンに  を合わせ、Aボタンで選ぶ。
- 3. 時間(分)を数字ボタンに  を合わせ、Aボタンを押して指定する。

指定した時間に1曲も入らないときは:

プログラムされません。

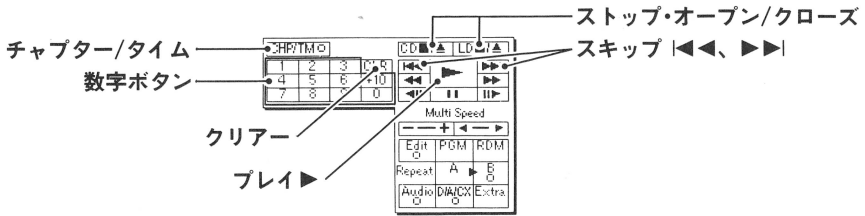
ご注意:

- コンビュプログラムエディットは、指定した時間に、最も近くなるようにプログラムするものですが、オートプログラムエディットより近くならない場合があります。
- LDでは、チャプター0(ゼロ)はプログラムできません。また、チャプター1がプログラムされた場合、実際の演奏時間が少なくなる場合がありますが、故障ではありません。
- LDでは、一度再生しなければエディットできません。

見たい場面を探す

チャプターやトラックの区切りで探す - チャプタースキップ、トラックサーチ

チャプターはLDに、トラックはCDまたはCDVIに記録されている区切りのことで、本の「章」にあたります。チャプターやトラックナンバーが記録されているディスクにはジャケットに表示があります。



チャプターナンバーやトラックナンバーを指定して探す

例:LDのチャプター3の初めから見る

〈ダイレクトサーチ〉

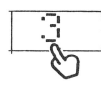
〈ノーマルサーチ〉



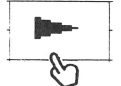
数字ボタンの3に ☺ を合わせAボタンを押す。



フレームナンバーまたはタイムナンバー表示のときはもう一度 ☺ を合わせAボタンを押す。



数字ボタンの3に ☺ を合わせAボタンを押す。



プレイボタンに ☺ を合わせAボタンを押す。

- サーチ後は、サーチ前の状態に関係なく静止画再生になります。

チャプターやトラックの始めに戻る・次へ進む



◀◀に ☺ を合わせAボタンを1回押すと現在のチャプターまたはトラックの初めに戻ります。画像が出る前に次々押すと、前のチャプター、その前のチャプターまたはトラックへ戻り、再生を始めます。



▶▶に ☺ を合わせAボタンを押すたびに次のチャプターまたはトラックへ進み再生を始めます。

数字ボタンを押し間違えたとき:

クリアーボタンに ☺ を合わせAボタンを押し、正しい数字ボタンを押す。

現在のチャプターやフレームナンバー、タイムナンバーを知るには:

コントロールパッドのスタート (START) ボタンを押します。

チャプターナンバーが10以上のときは:

[+10]や[0]ボタンを使います。

(例) 17のとき: [+10]、[7]

30のとき: [+10]、[+10]、[+10]、[0]

ノーマルサーチを途中で止めるには:

サーチ中にクリアーボタンに ☺ を合わせAボタンを押します。

ご注意:

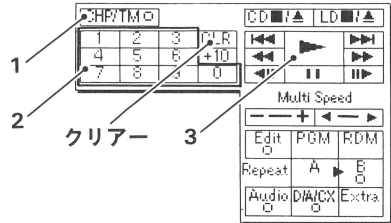
- TOC付きLDの場合、ディスクに記録されている以上のチャプターナンバーは指定できません。
- TOCのないLDの場合、ディスクに記録されている以上のチャプターナンバーを指定すると、ディスクの終わりでポーズまたは静止画になります。("0"を指定すると、ディスクの初めから再生します。)
- チャプターが記録されていないディスクでは、チャプターサーチはできません。再生中の画面にはフレームまたはタイムナンバーしか表示されません。

見たい場面を探す

時間で探す(長時間ディスクCLVのみ) — タイムナンバーサーチ

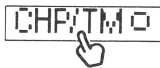
タイムナンバーとはCLVディスクの記録されている再生経過時間のことです。

タイムナンバーを指定して、見たい場面を探します。

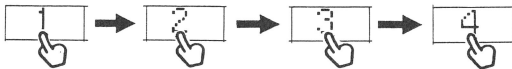


例 12分34秒の画像を探すには:

1. チャプター/タイムボタンに☞を合わせAボタンを押す。



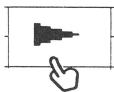
2. 数字ボタンの1、2、3、4の順に☞を合わせ、Aボタンを順に押す。



数字ボタンを押し間違えたときは:

クリアーボタンを押して表示を“0.00”にしてから正しい数字(秒付きのディスクは4ケタ、秒なしディスクは2ケタ)を押し直してください。

3. プレイボタン▶に☞を合わせAボタンを押す。



- サーチ後は、サーチ前の状態に関係なく静止画再生になります。

現在のチャプターとタイムナンバーを知るには:

コントロールパッドのスタート(START)ボタンを押して、これらのナンバーを画面に表示します。

タイムナンバーの指定に使える数字ボタンは:

0-9のボタンが使えます。+10ボタンは使えません。

タイムナンバーサーチをやめるには:

サーチ中にクリアーボタンに☞を合わせAボタンを押します。

ご注意:

- 秒の記録されていないディスクでは、“2ケタ”で指定してください。
- ディスクに記録されている以上のタイムナンバーをサーチすると、ディスクの終りでポーズになります。

見たい場面を探す

場面で探す(標準ディスクCAVのみ) - フレームサーチ

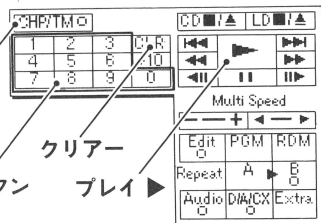
フレームとは、CAVに録画されている画像の1枚1枚のことです。フレームナンバーはこれらの画像の最初の1枚から最後の1枚までを、通しナンバーで記録した番号をいいます。フレームナンバーを指定して見たい場面を探します。

CHAPTER/タイム

数字ボタン

クリア

プレイ▶



例 フレームナンバー12340を探すには:

1. CHAPTER/タイムボタンに☞を合わせAボタンを押す。



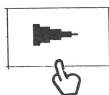
2. 数字ボタンの1、2、3、4、0の順に☞を合わせ、Aボタンを押す。



数字ボタンを押し間違えたときは:

クリアボタンを押して表示を"0"にしてから、正しい数字(5ケタ)を押し直してください。

3. プレイボタン▶に☞を合わせAボタンを押す。



- プレイボタン▶では、フレームサーチ後は静止画になります。その後プレイボタン▶に☞を合わせAボタンを押すとふつうの再生になります。
- サーチ後は、サーチ前の状態に関係なく静止画再生になります。

フレームナンバーの指定に使える数字ボタンは:

0-9ボタンが使えます。+10ボタンは使えません。

現在のCHAPTERとフレームナンバーを知るには:

コントロールパッドのスタート(START)ボタンを押して、これらのナンバーを画面に表示します。

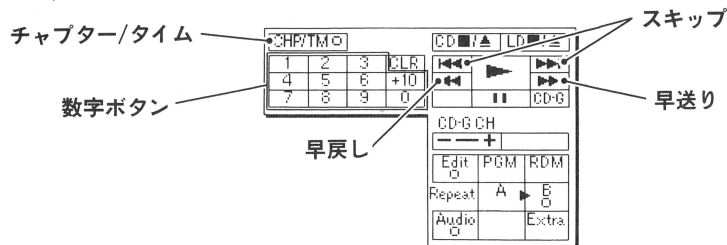
フレームサーチをやめるには:

サーチ中にクリアボタンに☞を合わせAボタンを押します。

ご注意:

ディスクに記録されている以上のフレームナンバーをサーチするとディスクの終りで静止画になります。("0"を指定するとディスクの始めから再生します。)

聞きたい曲を探す - トラックサーチ



曲番(トラックナンバー)を指定して探すには - トラックナンバーサーチ

聞きたい曲番の数字に を合わせAボタンを押します。

1	2	3	
4	5	6	+10
7	8	9	0

is pointing to the number 8.

好きなところから聞くには - 早送り、早戻しのマニュアルサーチ

早送り または早戻し ボタンに を合わせAボタンを押します。



曲の頭出しをするには

一度 または に を合わせAボタンを押すと、演奏中の曲の始めに戻ります。

その後押すたびに、前の曲、その前の曲に戻ります。 押すたびに、次の曲、その次の曲へ進みます。



曲番10以上のときは:

+10や0ボタンを使います。

(例) 14のとき: +10 → 4

29のとき: +10 → +10 → 9

トラックサーチのご注意:

ディスクに記録されていないトラックナンバーを指定すると、トラックサーチはできません。

早戻しのマニュアルサーチでディスクの最初に戻ると、ふつうの再生が始まります。

早送りのマニュアルサーチでディスクの終わりまで行くと:

ポーズの状態になります。

マニュアルサーチで音が聞ける? 演奏中に操作すると小さな音が出ます。

曲番と演奏時間を指定して探す - トラックタイムサーチ

1. チャプター/タイムボタンに👉を合わせてAボタンを押す。



3. 聞きたいところの演奏時間(その曲の初めからの演奏経過時間-トラックタイム)を数字ボタンに👉を合わせてAボタンを押す。

1	2	3	
4	5	6	+10
7	8	9	0

2. スキップ◀◀、▶▶ボタンに👉を合わせAボタンを押して聞きたい曲番を表示する。



4. プレイボタン▶に👉を合わせAボタンを押す。



指定した曲の指定したトラックタイムから演奏が始まります。

ディスクの初めからの演奏経過時間(ABS時間)で探す - ABSタイムサーチ(CDのみ)

1. チャプター/タイムボタンに👉を合わせAボタンを押して“ABS”を画面に表示する。



3. プレイボタン▶に👉を合わせAボタンを押す。

指定した演奏時間から演奏が始まります。



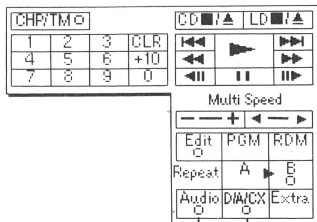
2. ディスクの初めから聞きたいところまでの演奏時間を数字ボタンに👉を合わせAボタンを押す。

1	2	3	
4	5	6	+10
7	8	9	0

数字ボタンを押し間違えたとき:

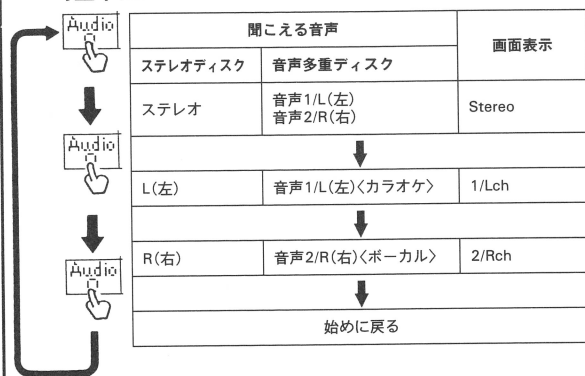
クリアボタンに👉を合わせAボタンを押して最初から押し直します。

音声の選びかた



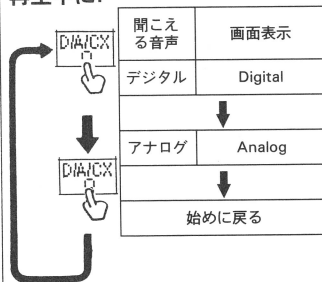
ステレオディスクの片チャンネルだけを聞くには
音声多重ディスクの音声を選ぶにはオーディオボタンに
👉を合わせAボタンを押す。

再生中に:



デジタル音声付きディスクのアナログ
音声を聞くには(LDのみ)
拡張操作画面にし、デジタル/アナ
ログ/CXボタンに 👉を合わせAボ
タン押す。

再生中に:



マルチオーディオディスク (digital と MULTI AUDIO または ~~STEREO~~ マーク付きLD) では、デジタル/アナログ/オーディオボタンで選ぶ1/L、2/Rチャンネルを組み合わせていろいろな楽しみかたができます。

音声仕様の具体例

ディスク	音声	アナログ音声	デジタル音声
映画・アニメなど		本編の音声	サウンドトラック
デュアルミュージック		ミュージック1	ミュージック2
デジタル音声多重カラオケ		1/L カラオケ(モノラル) 2/R アンスタントボーカル	ステレオカラオケ
ステレオ・バイリンガル (二ヶ国語)		日本語	第一外国語

ディスク	音声	アナログ音声	デジタル音声
トライリンガル(三ヶ国語)		日本語	1/L 第一外国語 2/R 第二外国語
クワッドリンガル(四ヶ国語)		1/L 日本語 2/R 第一外国語	1/L 第二外国語 2/R 第三外国語

故障? ちょっと調べてください

故障かな? と思ったらチェックしてみてください。ちょっとした操作ミスが故障と思われがちです。また、本機以外の原因も考えられます。ご使用のテレビやステレオコンポーネント、および同時に使用している電気器具も合わせてお調べください。下記の項目をチェックしても直らない場合はお買い上げの販売店またはお近くのバイオニアサービスセンター、サービスステーションにご連絡ください。

また、レーザーアクティブ対応コンパチブル レーザーディスク プレーヤー本体の取扱説明書も参照してお調べください。

症状	考えられる原因	処置
レーザーアクティブ対応プレーヤーの電源スイッチが動かない。	<ul style="list-style-type: none"> ● ROMカートリッジが正しく差し込まれていない。 ● コントロールパックが正しく差し込まれていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ● ROMカートリッジを正しく差し込む。 ● コントロールパックを正しく差し込む。
映像や音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> ● コントロールパックが奥まで、正しく差し込まれていない。 ● ROMカートリッジが、コントロールパックの奥まで、正しく差し込まれていない。 ● ROMカートリッジが裏返しになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ● コントロールパックを奥まで、正しく差し込む。 ● ROMカートリッジを奥まで、正しく差し込む。 ● ROMカートリッジの絵が書かれている方を下にして差し込む。
画面上の __ が動かない。	<ul style="list-style-type: none"> ● コントロールパックが正しく差し込まれていない。 ● コントロールパッドが正しく差し込まれていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ● コントロールパックを正しく差し込む。 ● コントロールパッドを正しく差し込む。
MEGA-CDのゲームができない。LD-ROMのディスクが再生できない。	<ul style="list-style-type: none"> ● ROMカートリッジが差し込まれたままになっている。 ● ディスクが裏返しになっている。 ● ディスクの汚れ、キズ。 	<ul style="list-style-type: none"> ● ROMカートリッジを抜く。 ● ディスクを正しくセットする。 ● ディスクの汚れをとる。
操作画面が暗い。	<ul style="list-style-type: none"> ● 長時間同じ画面を表示し続けている。 ● エキストラ操作画面で、画面の明るさを暗くしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ● コントロールパックのいずれかのボタンを押す。 ● エキストラ画面にして、画面を明るくする。
リモコンが操作できない。	<ul style="list-style-type: none"> ● 本機をレーザーアクティブ対応コンパチブル レーザーディスク プレーヤーにセットした状態の、リモコンでの電源のON/OFFはできません。 ● MEGA-CD、MEGA-LDディスク再生中はリモコン操作はできません。 	<ul style="list-style-type: none"> ● レーザーアクティブ対応コンパチブル レーザーディスク プレーヤーの電源スイッチを使用する。 ● 各ソフトの説明書により、コントロールパッドで操作してください。
再生しようとしても「Loading Error!」と表示して、再生できない。	<ul style="list-style-type: none"> ● 本機に対応していないディスクを再生した。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 本機に対応しているディスクに交換する。(→ 4ページ)

使用中に、どの操作も受け付けなくなった場合には、プレーヤー本体のリセットボタンを押すか、プレーヤー本体の電源をいったん切ってからもう一度入れ直してください。(ただし、実行中のゲームなどはリセットされます。)

仕 様

入出力端子:

ROMカートリッジ端子 (メガドライブ用ROMカートリッジ専用)

コントロールパッド端子

Laser Active端子

対応ソフト:

MEGA-LD (30cm,20cm)

MEGA-CD

ROM カートリッジ(メガドライブ用)

LaserDisc (30cm,20cm)

CD VIDEO LD (TOC付LD) (30cm,20cm)

Compact Disc (12cm,8cm)

CDV (CD VIDEO) (12cm)

CD VIDEO SINGLE (12cm)

CD-G (CD グラフィックス)

その他

重 量 1.1kg (コントロールパッド含まず)

外形寸法 160(幅) × 253(奥行) × 40(高さ)mm

許容動作温度 +5°C ~ +35°C

許容動作湿度 5%~85%(結露なきこと)

付属品 専用コントロールパッド(CPD-S1) 1個

コントロールパッドによる操作機能

	機 能	標準ディスク (CAV)	長時間ディスク (CLV)	CDV	CD
基本機能	片面再生 一時停止 停止	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○
サーチ	早送り・早戻し チャプター/トラックスキップ ダイレクトチャプター/トラックナンバーサーチ フレームナンバーサーチ タイムナンバーサーチ	○ ○ ○ ○ ×	○ ○ ○ × ○	○ ○ ○ × ○	○ ○ ○ × ○
プログラム	チャプター/トラックプログラム再生 プログラム修正 エディット	○ ○ ○*1	○ ○ ○*1	○ ○ ○	○ ○ ○
リピート	A-Bリピート メモリーリピート チャプター/トラックリピート 片面リピート プログラムリピート ランダムリピート プログラムランダムリピート	○ ○ ○ ○ ○ ○*1 ○	○ ○ ○ ○ ○ ○*1 ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
特殊再生	静止/コマ送り(正、逆) マルチスピード(正、逆9段階可変)	○ ○	○ ○	○*4 ○*4	× ×
時間表示	経過時間表示 絶対時間 (ABS) 表示 一曲残量時間表示 総残量時間表示 総曲数、総再生時間表示	× ○*1 × ○*1 ○*1	○ × × ○*1 ○*1	○ × ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○
その他	CXシステムオン/オフ デジタル/アナログ切換 音声出力チャンネル切換(ステレオ、1/左 2/右) ピクチャーストップキャンセル	○*2 ○*3 ○ ○	○*2 ○*3 ○ ×	× × ○ ×	× × ○ ×

*1:TOC付きディスクのみ

*2:  マークつきディスクのアナログ音声のみ

*3:デジタル音声つきディスクのみ

*4:ビデオパートのみ

● 本機の仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

アフターサービスについて

保証書



保証書は必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取り、内容をよく読んで大切に保管してください。

保証期間はご購入日から1年間です。

補修用性能部品の最低保有期間

当社はこの製品の補修用性能部品を製造打ち切り後最低8年間保有しています。

アフターサービスなどについてわからないとき

本機に関するご質問、ご相談は最寄りのパイオニアインフォメーションセンター（IC）をご利用ください。所在地、電話番号は付属の「サービス窓口・ご相談窓口」をご覧ください。

—— 海外へお持ちになる方へ ——

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様であり、外国の規格等には準拠しておりません。したがって、日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。また、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポート等は行っておりません。

お客様メモ

- おぼえのため記入されますと、便利です。

ご購入店名	住所 電話番号	お近くの ご相談窓口	住所 電話番号
ご購入年月日	年 月 日	型 番	この機種はPAC-S1です。



この取扱説明書はエコマーク認定の再生紙を使用しています。

修理を依頼するとき



もう一度取扱説明書をよく読んでください。確認した後なお異常のあるときは、まずコントロールパックを本体から抜いてから下記の要領で修理を依頼してください。

保証期間中は

万一、故障が生じたときは保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理致します。お近くのパイオニアサービスセンター、サービスステーションまたはお求めの販売店にご連絡ください。保証書の規定にしたがって、修理いたします。

連絡する内容について:

- ご住所、お名前、電話番号
- 製品名、型番、ご購入日
- 訪問ご希望日
- ご自宅までの道順と目標（建物、公園など）

保証期間が過ぎているときは

最寄りのパイオニアサービスセンター、サービスステーションまたはお求めの販売店にご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

ご注意

修理によっては、内蔵バックアップRAMに保存されているデータが消失する場合がありますが、消失したデータ内容についての保証はできませんのであらかじめご了承ください。

LaserDisc レーザーディスクは、パイオニアの登録商標です。
LaserActive レーザーアクティブは、パイオニアの登録商標です。